



そよ風

Smile! / Service! / Science! 笑顔の大学病院を目指しています

婦人科領域のがんにおける 分子標的治療について



これまでの婦人科領域におけるがんについては、手術、放射線療法、化学療法がメインの治療となってきましたが、2013年11月に卵巣がん、2016年6月に子宮頸がんに対する分子標的薬であるベバシズマブ(アバスチン®)が保険適用となって以来、臨床現場でも広く使用されています。この薬剤は、新しい血管ができる過程(血管新生)を阻害してがんの成長を妨げる「血管新生阻害薬」というタイプの薬剤です。がんだけでなく正常な組織にも作用を及ぼす通常の化学療法とは異なり、攻撃の対象が特定されているため、正常な組織には作用しにくいことが知られています。ただし、正常な血管の仕組みには影響をおよぼすことがあるため、化学療法と同様に副作用には注意が必要です。また、DNA修復経路を標的とするPARP阻害薬であるオラパリブ(リムパーザ®)が卵巣がんに対して2018年1月に承認され、当院女性診療科(婦人科腫瘍)でも患者さまに使用されています。これから治療を受けられる患者さまにとっては選択枝が増えたこととなります。詳細な適応についてはぜひ当科にご相談下さい。

(女性診療科(婦人科腫瘍))



アバスチン® について



リムパーザ® について

Contents

2019年3月
第34号

- ▶ 婦人科領域のがんにおける分子標的治療について
- ▶ DCTは入院患者さまの血糖コントロールをサポートします!
- ▶ 前立腺肥大症に対する新しいレーザー手術(CVP)について
- ▶ 乾癬における生物学的製剤という選択枝
- ▶ 骨髄バンクの採取件数(骨髄および末梢血)が日本一になりました
- ▶ 知ってる? サンタ・ラン
- ▶ 医学部4年生 外来型CC(クリニカル クラークシップ)
- ▶ 当院より7名の「肝炎医療コーディネーター」が認定されました!
- ▶ 認定看護師の活動について
- ▶ 院内イベント情報

診療科紹介 循環器内科

DCTは入院患者さまの血糖コントロールをサポートします!

現在、国内の糖尿病患者さまは約1000万人、その予備群もほぼ同数といわれています。血糖値が高い状態では、口渴、倦怠感、易疲労感(疲れやすいこと)などの症状を起こすだけでなく、手術、抗がん剤・免疫抑制剤(ステロイド剤など)の治療をうける場合、手術後の合併症や感染症などを起こしやすくなりますので、入院治療時には適切な血糖コントロールが大切です。



DCT(糖尿病コントロールチーム)のメンバー

DCT(Diabetes Control Team: 糖尿病コントロールチーム)は、当院で手術、抗がん剤治療、ステロイド治療などをうける入院患者さまの血糖コントロールをサポートする糖尿病診療専門チームとして平成30年1月から活動しています。この1年で911名の入院患者さまの血糖コントロールを担当しています。長く糖尿病治療をされてきた方、また、今回初めて血糖値の異常を指摘された方も、入院診療科主治医からの依頼に応じて、適切かつ安全な血糖コントロールをサポートしますので、どうか安心して入院治療をうけてください。

(生活習慣病・糖尿病センター 山崎 祐子, 絵本 正憲)

前立腺肥大症に対する 新しいレーザー手術（CVP）について

前立腺肥大症に対する新しい術式の一つである接触式レーザー前立腺蒸散術(CVP)が、健康保険で認められるようになったため、2018年から大阪市立大学泌尿器科でも開始しており良好な成績を収めています。

CVPは、前立腺組織に光ファイバーを接触させてレーザー光を照射することで、前立腺組織に高熱をあたえ、組織中の水分や血液を一瞬で沸点に到達させて蒸発させ、組織を気化して消失させてしまう最新の手術方法です。蒸散能（蒸散する仕組み）・止血能（止血する仕組み）が高く、手術時間も短縮でき、大きな前立腺の症例にも適応できるというメリットがあります。従来から行われている経尿道的前立腺切除術（TUR-P）と比較して、より低侵襲（患者さまの体への負担をできるだけ少なくする）なため、高齢・抗凝固剤内服など高リスクの患者さまに対しても最適な手術の一つとなります。

当院での治療をお考えの方は泌尿器科外来（担当医 鞍作：水曜日、南：金曜日）までご相談ください。
(泌尿器科)



乾癬における生物学的製剤という選択肢

皮膚科の領域に乾癬という病気があります。銀白色の鱗屑を伴う盛り上がった紅斑が全身に出る病気です。慢性的な機械的な刺激を受けやすい頭部、肘・膝、臀部、下腿伸側（いわゆる「向こうずね」部分）などによくできますが、全身に皮疹が出る方もいます。

治療は外用、内服、紫外線療法など選択肢が多くありますが、皮疹が重症の場合や関節症状を伴う場合には生物学的製剤（バイオ）という注射を使うことがあります。乾癬が発症する原因となる物質をピンポイントで抑える治療薬です。有効性が優れた薬でほとんどの方に効きますが、すべての方に効くわけではありません。当科では毎週火曜日の午後にバイオ外来を設け、乾癬に対して生物学的製剤投与中の患者さまの治療に取り組んでいます。乾癬の治療でお悩みの方は当科へご相談ください。



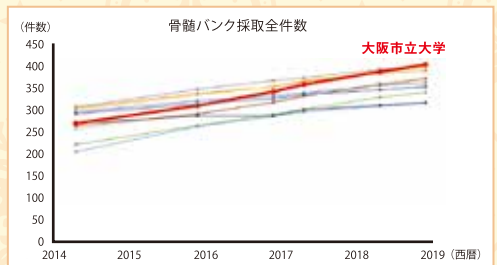
治療前

治療後

(皮膚科)

骨髄バンクの採取件数(骨髄および末梢血)が 日本一になりました

同種造血幹細胞移植は白血病などの血液疾患を完治させる高度な医療ですが、骨髄や末梢血幹細胞、臍帯血を提供していただくドナーさんが必要です。血縁にドナーがいない場合は、骨髄バンクや臍帯血バンクに登録している非血縁ドナーさんから提供していただく必要がありますが、採取には合併症もありますので、造血細胞移植コーディネーターなど様々な専門職が移植サポートチームとして連携協力して万全の態勢で安全に行う必要があります。当院は2000年から骨髄バンクの認定施設として骨髄採取および末梢血幹細胞採取に貢献してきましたが、2018年9月末時点での採取件数は日本で最も多い402件となりました。今後も造血幹細胞移植推進拠点病院としてドナーさんへの負担が少ない安全な採取を行い移植医療に貢献して参ります。
(血液内科・造血細胞移植科)





知ってる？ サンタ・ラン

みんなの楽しみ、クリスマス。数年前、私たち小児科は思いがけないプレゼントを受け取りました。たくさんのおもちゃ、外来待合のマット(ふかふか!)、病棟にはサンタが登場! 送り主は『大阪グレート サンタ ラン』。英国のイベントを模し、2009年から日本版で展開し年々規模が大きくなりつつあるチャリティ活動です。病気の子どもとその家族の支援のため、ひとりひとりがサンタになり誰かを笑顔にする—サンタのコスチュームで大勢が大阪城周辺を走ります(ラン)。小児科では有志スタッフでイベントに参加・寄付をすることでプレゼントの循環が



今回、参加したメンバー

でき上がりました。2018年もイベント当日は暖かい晴天に恵まれ、小児医療センター、NICUのスタッフが多数参加しました。

残念ながら日本は諸外国に比べ、寄付は身近ではありません。こんなに近くに、こんなに大勢、誰かの役に立ちたい優しい人がいる、そんな輪が広がることを願います。あなたも、是非、今年はサンタに!
(小児科)



『大阪グレートサンタラン』にていただいたたくさんのおもちゃとふかふかのマット

医学部4年生 外来型CC(クリニカルクラークシップ)

従来、日本の医学教育は、講義が中心でした。近年、指導医の管理のもと医学生が主体となり、患者さまを実際に診療することを通じて学ぶ時代へと変わりつつあります。4年生でチューデントドクター(SD)を取得した後は、5年生で診療参加型臨床実習(CC、クリニカルクラークシップ)として、学生が医療チームの一員となって診療業務に参加します。患者さまの診療を通じて医療現場で必要な知識・技能・態度等を自主的に学びます。

外来型CCは、4年生でSDを取得して初めて患者さまの診療に参加する実習です。具体的には、午前中に外来初診の患者さまを中心に問診と診察を行い、担当医とともに診療にあたります。午後には、患者さまの診療を通じて得た経験を発表することで、学年全体で共有し、全体のレベルの底上げを行っています。

この臨床実習は患者さまの協力なしには行えないものです。本学医学部の教育理念である智仁勇をもった卒業生を輩出するため、ご協力を頂きますよう何卒お願い申し上げます。

(総合診療センター・並川 浩己・栩野 吉弘)



指導医とともに診療にあたる医学部4年生



診療を通じて得た経験を発表

当院より7名の「肝炎医療コーディネーター」が認定されました!

肝臓は「沈黙の臓器」と言われており、肝炎になってもほとんど症状がなく、慢性化すると肝硬変や肝がんへと進行することがあります。病気が進行すると治療も難しくなるため、早期発見・早期治療がとても大切です!

厚生労働省では「一生に一度は肝炎検査を」をスローガンに啓発活動を行っています。平成20年7月に大阪府より「肝疾患診療連携拠点病院」に指定されている当院でも、7月28日の世界/日本肝炎デーにあわせて啓発イベントを開催しています。毎年200名を超える方に参加していただき、講演会や検査体験などを通じて啓発を推進しています。

この度、肝炎啓発を積極的に行う「肝炎医療コーディネーター」の認定を、大阪府が開始しました。肝炎のあらゆる相談(日常生活の留意点、予防、治療の情報提供など)をお受けしますので気軽にご相談ください。(肝胆脾内科、患者支援課)



2018.7.28おおさか肝炎デー



肝炎医療コーディネーター
(医師、看護師、管理栄養士、医療ソーシャルワーカー、事務)



スタッフお揃いのTシャツで!
(於 おおさか肝炎デー)

肝疾患相談支援センター

窓口 1階①番窓口

時間 9:00~16:45

TEL 06-6645-2121(代表)

※「肝疾患相談支援センター(患者支援課)」宛にお問合せください

シリーズ **診療科紹介** **循環器内科**

循環器内科は、主に心臓や血管の病気を患われた患者さまを診させていただき診療科です。動悸・息切れ・足のむくみ・胸の締め付けられる感じ、これらはいずれも心臓や血管の病気で起こりうる症状です。循環器内科外来では月曜日から金曜日まで専門外来を設け、患者さまの症状をよくお聞きし、それぞれの分野の専門医が診察にあたります。精密検査が必要な患者さまは入院していただき、様々な検査を行い、循環器内科のメンバー全員で患者さまに最適な治療方針を話し決定しています。私たちは“内科”ではありますが、患者さまに最適なお薬を処方するだけでなく、カテーテルやペースメーカーを用いた治療も必要な患者さまには積極的に行っています。心臓の症状かな?と思われるなら、一度主治医の先生に循環器内科への紹介をご相談ください。



循環器内科メンバー

シリーズ **第10回**
～認定看護師の活動について～

当院では、専門的な知識と視点を持つ認定看護師・専門看護師が協力しながら対応・活動しています。



今年8月から、認知症看護認定看護師として活動している小林美保です。認知症症状では、自分の思いをうまく伝えられなくなるなどコミュニケーションが困難になることがあります。また高齢になると、手術を受けたり、体調が悪い時に入院で環境が変わったりすることでせん妄という認知症に似た状態を起こすことがあります。

認知症看護認定看護師の役割は、認知症やせん妄状態にある患者さまの思いをくみ取り、治療や検査を安全・安楽に受け、元の生活の場に戻れるようにサポートすることです。

また、医師とともにいる認知症・せん妄ケアチームラウンドでは、認知症症状やせん妄状態を悪化させないための方法を、病棟のスタッフと相談しながら患者さまに提供しています。

認知症看護認定看護師 小林 美保

認定看護師とは、公益社団法人日本看護協会の認定看護師認定審査に合格し、ある特定の看護分野において、熟練した看護技術と知識を有することが認められた者をいいます。
 ※公益社団法人日本看護協会ホームページから引用 <http://nintei.nurse.or.jp/nursing/qualification/cn>

院内イベント情報 ※日程及びイベント内容については変更する場合がございます。予めご了承のほどお願い申し上げます。

コンサート

アーテム大阪(大阪二期会)による
オペラ・ピアノ

日時 平成31年4月5日(金)
 時間 15:00~16:00
 場所 病院5階 講堂

コンサート

ボランティアグループ **ブレンドエナジー クワイア**による
演奏・合唱

日時 平成31年5月9日(木)
 時間 15:00~16:00
 場所 病院5階 講堂

ワークショップ

ボランティアグループ **はりねずみ**

日時 平成31年5月23日(木)
 時間 13:00~15:00
 場所 病院18階 第4会議室

発行 / **大阪市立大学医学部附属病院**

<http://www.hosp.med.osaka-cu.ac.jp/>

所在地：〒545-8586 大阪市阿倍野区旭町1丁目5番7号
 電話：(06)6645-2121 (代表)

初診受付時間：午前9時～午前10時30分
 休診日：土・日・祝日、12月29日～1月3日